

## 活動報告・2022年7月号



いつもカリタスジャパンの活動にご協力いただき、ありがとうございます。  
 皆さまから数多くの募金をいただき、現在、領収書の発送に時間を要しております。  
 ご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

### TOGETHER WE キャンペーン関係

#### 教区担当者管区別会議

7月から、日本でも本格的に開始する、国際カリタスの「トゥギャザーウィ」キャンペーンのすすめ方について、東京、大阪、長崎の各教会管区で、それぞれの教区担当者がオンラインで集い、意見交換しました。

### 援助金交付先一覧(2022年6月1~30日)

#### ■国際カリタス緊急支援要請

##### マリ:カリタス マリ

**食糧不安世帯へのマルチセクター支援 1,424,300円**  
 アフリカ北西部のマリでは、「アラブの春」の影響で紛争が発生し、その後クーデターの勃発、イスラム過激派の台頭、異常気象による干ばつ、避難民の急増など多角的な危機を経験しています。カリタスマリは避難先から戻った人を対象に食糧支援と食糧生産の再開をサポートしていきます。

##### パレスチナ:カリタス エルサレム

**紛争後復興を通じてのコミュニティの適応能力強化促進 1,424,300円**

ガザ地区では昨年、4回目となる大規模空爆が行われ、子どもを含む約300名が犠牲になりました。カリタスエルサレムは紛争直後から被災地に入り、一次医療診療や精神ケアを行っています。また今年には耳鼻科、心臓外科、眼科等の資器材提供や、二次医療診療への紹介を行っています。

##### ブルキナファソ:カリタス ブルキナファソ

**食料と栄養の安全保障のための緊急対応 1,352,100円**  
 アフリカのサヘル地域に位置し、厳しい気候条件のブルキナファソ。近年は武装グループによる攻撃、殺戮、略奪が横行し、住民は住む場所を追われています。カリタスブルキナファソは特に弱い立場にある家庭に現金を支給することで、命をつなぐ支援を展開していきます。

##### ポーランド:カリタスポーランド

**ウクライナ戦争による被災者支援 7,137,500円**  
 ロシアによる軍事侵攻以降、多くのウクライナ人がポーランドに逃げましたが、現在は140万人が滞在しています。

す。カリタスポーランドは特に支援が必要な高齢者、子どもを持つ女性、障がいを持つ人たちに、現金の支給、住居の提供、心理社会的支援などを実施しています。

#### ■国内援助

##### 東京教区:オンブレジャパン

##### コロナ禍で孤立した元受刑者・依存症者支援事業

**1,760,000円**

アルコール、薬物、ギャンブル等依存症を抱える人の生活訓練事業です。新型コロナウイルス感染症によってさらに孤立化し、追いやられた人々のために、24時間体制の支援が可能な入寮リハビリ施設を開設します。共同生活とデイケアの組み合わせで、効果的に社会参加への道筋が立てられます。

##### さいたま教区:ほっとプラス

##### 生活困窮者の相談支援・住居支援事業 2,000,000円

新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮に陥る方が増えています。当団体は住まいを失ってしまった方の住居の確保、福祉制度の紹介など、住居と生活を守る相談支援事業を行っています。今後は、夜の路上巡回活動やシェルター入居者の見守り対応も強化していきます。

### 2022年6月1日~30日 献金額(円)

運営寄付	511,666
四旬節献金	13,788,817
国内援助	64,333
海外援助	707,883
クリスマス献金	167
スーダン支援	68,020
ウクライナ危機人道支援	14,741,990
新型コロナ緊急募金	38,616
マンスリーサポーター	997,166
合計	30,918,658

東日本大震災の募金受付は2021年3月末日を以て終了しております。